





発行：放送大学福島学習センター
機 関 誌

〒963-8025
郡山市桑野1丁目22-21
(郡山女子大学もみじ館内)

TEL 024-921-7471
FAX 024-921-7814
<http://www.ouj.ac.jp>

— もみじの由来 —

福島学習センターの建物は、もみじ館と呼ばれ、郡山女子大学発祥の地である。青葉の頃、紅葉の時期それぞれに美しい色どりが心をなぐさめる。当センター機関誌の名称としてまことにふさわしい。



読書の視野を広げる — 出版社PR雑誌の楽しみ —

所長 森 田 道 雄

福島学習センターから歩いて15分くらいの所に、郊外型の大型書店があり、昼休みを利用して時々そこに行きます。カウンターの横に放送大学のパンフレットを置いてもらっているの、補充も兼ねています。そのカウンターには、出版社が出しているPR誌が無料で置いてあるので、それらを読み始めると、けっこう面白く、引き込まれます。『本』講談社、『本の窓』小学館、『青春と読書』集英社、の月刊誌ですが、ほかに自宅に『図書』岩波書店をとっています。学習センターには『書斎の窓』有斐閣を送ってもらっています。時折訪れる前任校の大学生協には、『UP』東大出版、『究』ミネルヴァ書房が、たまに置いてあります。置いてないととても損したような淋しさを感じます。

大半は読み捨てになりますが、それぞれ内容には工夫があり、出版社の特徴もよく出ていて、どれをとっても雑学の楽しみが味わえます。たとえば、アカデミックなほうでの代表格『書斎の窓』は本格的な論文もあれば、ちょっと力を抜いたエッセーもあります。たとえば、曾我謙悟「コラム 先行研究を読むとはいかなる営みか」は修士課程受験の学生に勧めたい好著だと思いますし、『UP』に五味文彦「文化財から会津の文化交流の力を考える」を見た時、会津の観光パンフに日本の五大仏都として、奈良、京都、鎌倉、平泉と並んで会津があげられていましたが、その学問的な裏付けがあることを知って驚いたことがあります。『究』には浜田寿美男「事件に出会った心理学者」という連載があり、報道記事とは一線を画した興味深い「事件」が描かれ、学者の視点というものがとても興味深いです。『図書』はこの種の老舗で、連載が単行本(新書も)になるなど、執筆者も力を入れて書いていますので、雑学などというのは失礼に当たると言えましょう。いま連載中の斎藤美奈子「文庫解説を読む」連載は、「解説」を解説するという切り口もさることながら、ちょっとゆるい文体も面白いです。

大手出版社の「読書情報誌」は、いままで紹介したものと少し傾向が違いますが、著者の巧みな文体で飽きさせません。もちろん、アカデミックな読書に耐えるしっかりした内容のものもあります。『本』では、原武史「長期連載 鉄道ひとつばなし」は200回以上を重ね、鉄ちゃんには見逃せないようですし、そうでなくてもへえと唸るようなことがら満載です。

ここに挙げたもの以外にもPR雑誌はまだあります。読書離れとか、電子図書とか、書店激減とか、従来型書籍や雑誌の危機と言われることもあります。時間を見つけて書店に出かけ、本棚から直接本を手にし、お気に入りの本を探す生活は、精神的な豊かさを象徴するものだと思います。レジカウンターの横のPR雑誌をいただいて、その世界に触れてみるとなんだか得した気分になれますよ。(書店が近くにないという方でPR雑誌に興味を持たれた方には直接購読という手があり、県立図書館、市立図書館などで閲覧できる雑誌もあります。)



お世話になりました

福島大学 名誉教授 清水 修 二



福島大学で管理職をしていた期間を除き、ずいぶん長いこと放送大学のお世話になりました。年に十数回のゼミは毎回楽しく、皆さんにお会いする日は心躍る思いでした。また学びの祭典などのイベントや公開講座も思い出に残るものです。不愉快だったり辛かったりした記憶が全然ないというのもちょっと珍しい経験でしょう。もっとも人間トシをとると都合の悪いことはすぐ忘れる傾向がありますので、それで助かっているのかもしれませんが。

放送大学の良いところは、多くの学生のみなさんにとって、学ぶことが何かの手段ではないことです。学ぶこと自体を目的にお出でになっている方が多く、非常に純粋な「学び舎」の印象があります。生涯学習という言葉をもっと端的にカタチにしている教育の場で、その役割はこれからますます大きくなっていくと思います。

この間、私にとって一番大きな出来事は原発事故です。この事故のあとチェルノブイリ事故の被災地に4度足を運び、全国で何百回も講演や学習会をやり、百本以上の論文や評論を書き、数冊の本を出しました。拙著の1つに『原発とは結局なんだったのか』（2012年、東京新聞刊）があり、私はそこに「いま福島で生きる意味」というサブタイトルをつけました。私はこのまま福島に住み続けるつもりですが、そうである以上、この地に生きる意味を死ぬまで問い続けなければならないとハラを決めています。何かの機会にまたみなさんにお話をする機会があれば何よりです。



「つながり」を実感した日々

郡山女子大学家政学部 講師 堀 琴 美



あっという間の3年でした。私は福島学習センターのゼミが大好きでしたので、少し名残惜しく感じています。

放送大学の学生さんは、平均年齢が高く、社会経験が豊富で人脈も広く、人一倍好奇心が旺盛で博識な人が多いです。専門家や先生と呼ばれる人たちも受講生として座っています。「だから、知らないことを質問されても、決して誤魔化したりいい加減な回答をしてはいけません。正直に誠実に対応してください」と、大切なことを教えてくださったのは、前所長の（故）北村寧先生でした。

私は、臨床心理学が専門で、虐待や暴力の視点からこころの問題を考えてきました。ゼミでは、1年目（2013年）は虐待問題全般を、2年目（2014年）はネグレクトと愛着障害を、3年目（2015年）は暴力映像とゲーム依存を取り上げました。その底流では一貫して、人と人との「つながり」が薄れつつある現代社会の中で、「つながる力」とは何か。その力をどう育ててゆけばよいか、を考えてきました。学生さんから出る意見は鋭く豊かで、議論は毎回ゼミ終了時刻を大幅に超えて盛り上がりました。これが一番楽しい時間でした。3年間で学生さんたちと「つながり」ができ、ゼミの中身も議論が深まり、毎年新しいテーマへと発展し「つながって」いきました。

いつもユーモアを交えた励ましとご指導をくださった森田所長先生はじめ、事務局のみなさまにも本当にお世話になりました。ありがとうございました。



「今、ここにいる自分」と 「転換期を迎えた世界」をつなぐ視点を求めて

福島大学経済経営学類 教授 吉 高 神 明

この度、放送大学福島学習センターで客員教員を担当させていただくことになりました。

私の専門分野は、国際公共政策研究です。我々が暮らす世界が直面する「地球規模の問題群」の現状と課題について、国際機関、主権国家、NGO／NPO等のアクター間の相互作用に焦点を当てながら研究を進めています。最近は、「リーマンショック以降の世界経済」、「世界で頻発するテロリズム」、「主要国の原子力政策」等に関心を持っています。

また、2011年3月11日の東日本大震災・福島第一原発事故以降、公務等でアジアに調査に出かける機会が増えました。この場合、3つの問題意識があります。第一は、アジアにおける新しいビジネスとライフスタイルの調査です。今アジアではどんなビジネスが展開され、人々はどんな生活を夢見ているのか。第二は、大規模な自然災害や内戦に見舞われた国々の調査です。インドネシア、ミャンマー、スリランカ、バングラデシュ、ネパール等の被災地は、それぞれユニークな復興・再建プロセスを歩んでいます。第三は、アジア主要国の高等教育（主として大学）に関する調査です。これまで中国、台湾、香港、韓国、シンガポール、マレーシア等の名門大学を視察し、そこで熱心に学ぶ学生や各大学のユニークな教育プログラムに驚かされてきました。これら3つの問題意識に基づく調査を、福島を含めた被災地の復興に少しでも役立てることができればといつも思っております。

4月以降、みなさんと一緒に授業ができることを楽しみにしております。



新任挨拶

福島大学地域創造支援センター 准教授 木 暮 照 正

平成28年4月から新たに客員教員として就任させていただくこととなりました木暮と申します。

本務校（福島大学）では地域連携系のセンター（地域創造支援センター）の専任教員として、生涯学習・成人学習を担当しております。具体的には、大学主催公開講座の企画運営や学外諸団体からの要請に基づく大学講師の派遣、生涯学習全般にわたる相談業務を担当しております。研究の専門は心理学で、学生・大学院生の頃は脳科学に近い分野（認知神経心理学）を専攻していましたが、現在の本務校に着任してからは、これらに加え、生涯学習・成人学習に関わる領域も扱うようになりました。とくに現在の研究関心は成人期にある方の学習経験とその心理的効用にあります。

最近のヨーロッパ諸国における研究成果から、たとえ就業には直接関わらないような教養的な学習（リベラルな学習）の経験であっても、精神的健康や家族関係、広く人間関係の構築に対してよい効用をもたらすことが指摘されています。実際に生涯学習・成人学習を実践されている学生の皆さんとも交流をさせていただき、いろいろとお話をお聞かせいただけると幸いです。これまでも福島学習センターの面接授業講師も何度か務めさせていただいた経験もありますので、学習センターの状況はそこそこ理解しているつもりではありますが、このような形で関わるのは初めてですので、どうぞご指導方よろしくお願い申し上げます。

平成28年度 第1学期 ゼミのお知らせ



テーマ

宇宙開発・四方山話 (よもやまばなし)

浅井 義彦 先生

講義概要

「いわきサテライトスペース」で開講される唯一のゼミですから、学生間の絆づくり・情報交換が大切な役割だと考えています。今学期のテーマは、専門分野(宇宙工学)に関連して、前年度のゼミ参加学生から提案された話題を採用させて頂きました。各回には、担当教員からテーマに沿った情報提供もいたしますが、意見交換や、テーマ以外の話題に展開することも歓迎します。科学的に議論し考えることを楽しめればと期待しています。

会場

いわきサテライトスペース

- 1 4月17日(日) 15:00~16:30 太陽系の小天体
(彗星や小惑星、衝突問題など)
- 2 4月24日(日) 15:00~16:30 天王星、海王星、太陽系外宇宙空間、銀河系…
- 3 5月8日(日) 15:00~16:30 各国の宇宙探査、宇宙実験
(目標や成果など)
- 4 5月22日(日) 15:00~16:30 宇宙開発の開発体制、関連企業、技術移転…
- 5 6月5日(日) 15:00~16:30 宇宙法
(各国の宇宙開発関連法および国際条約など)
- 6 6月26日(日) 15:00~16:30 誘導制御技術の動向
(HTV-Rなど)
- 7 7月10日(日) 15:00~16:30 失敗と呼ばれる教訓について
(経験談を含めて)



テーマ

食と健康の問題を考える

浅田 隆志 先生

講義概要

健康によいとされる飲食品や化学物質による中毒等の我々の身近な健康問題について、テレビ、新聞、インターネットでは様々な情報が氾濫しています。正しい知識をもっていないと、誤った情報に惑わされてしまうこともあります。

このゼミでは、食と健康に関する話題を提供し、誤った情報に惑わされないための基礎知識を解説します。食と健康について一緒に考え議論しましょう。

会場

福島学習センター

- 1 4月16日(土) 10:00~11:30 食後の血糖値の上昇を穏やかにする食品
- 2 4月24日(日) 10:00~11:30 コレステロール
- 3 5月7日(土) 10:00~11:30 ヒスタミン食中毒
- 4 5月28日(土) 10:00~11:30 カフェイン
- 5 6月4日(土) 10:00~11:30 加工肉と発がん
- 6 6月11日(土) 10:00~11:30 コラーゲン
- 7 7月9日(土) 10:00~11:30 コエンザイムQ10

—ゼミの受講について—

ゼミは、客員教員がテーマに沿って授業を行います。

ただし、面接授業とは違い、一方的に授業をすすめるものではありません。学生さんとの対話をしながら授業を行っていきます。

1回ごとに行われていますので、途中からでも参加できます。ゼミを受講する場合の申し込み・授業料は不要です。正規の単位にはなりませんが、積極的な参加をお待ちしております。

※都合により、日程が変更になる場合があります。その都度、館内に掲示しお知らせいたします。なお、日程の確認は電話での問い合わせも可能です。



テーマ

転換期を迎えた アジアの最新事情

吉高 神明 先生

講義概要

東日本大震災後、アジアに調査に行く機会が増えました。今日のアジアは歴史的な転換期を迎えています。本授業では、最新のアジア情勢について、政治、経済、ビジネス、文化、流行などに焦点を当てながら、みなさんと一緒に理解を深めたいと思います。今回は、シンガポール、インドネシア、カンボジア、タイ、ミャンマーの5か国を取り上げます。授業では、現地調査の際の写真やエピソード、街角で見つけた不思議なグッズなども紹介したいと思います。

会場

福島学習センター

- 1 4月23日(土) 10:00~11:30 今、アジアがおもしろい！
体験的アジア研究のすすめ
- 2 4月24日(日) 13:00~14:30 シンガポール
多民族国家の素顔
- 3 5月14日(土) 10:00~11:30 インドネシア
世界最大のイスラム国家はどこに行くのか？
- 4 5月15日(日) 10:00~11:30 カンボジア
内戦の悲劇と世界遺産と共に
- 5 6月4日(土) 13:00~14:30 タイ
親日国家の希望と苦悩
- 6 6月5日(日) 13:00~14:30 ミャンマー
アジアの「最後のフロンティア」のゆくえ
- 7 7月2日(土) 10:00~11:30 ASEAN経済共同体(AEC)の展望



テーマ

生涯学習・成人学習の 心理的効用について

木暮 照正 先生

講義概要

一生涯にわたって学び続けること(生涯学習)、とくに大人になってからも学び続けること(成人学習)にはどのような効果・効用があるのでしょうか？ヨーロッパ諸国における研究成果から、たとえば就業には直接関わらないような教養的な学習の経験であっても、精神的健康や家族関係、また広く人間関係の構築に対してよい効用をもたらすことが指摘されています。このゼミでは、生涯学習・成人学習の経験が心理的な側面に及ぼす影響を中心に上げ、実際に生涯学習・成人学習に取り組んでいらっしゃる学生の皆さんと議論をしていきたいと思っています。

会場

福島学習センター

- 1 4月10日(日) 10:00~11:30 生涯学習・成人学習の心理的効用:概要
- 2 4月17日(日) 10:00~11:30 ヨーロッパにおける成人学習の効用研究
- 3 5月8日(日) 10:00~11:30 精神的健康への影響
- 4 5月22日(日) 10:00~11:30 家族関係への影響
- 5 6月5日(日) 10:00~11:30 社会関係への影響
- 6 6月12日(日) 10:00~11:30 アンケート調査から見る生涯学習・成人学習の心理的効用
- 7 7月3日(日) 10:00~11:30 生涯学習・成人学習の心理的効用:討論

平成28年度 第1学期 ゼミのお知らせ



テーマ 『おくのほそ道』の民俗学

会場

福島学習センター

野澤 謙治 先生

講義概要

柳田国男は俳句に大変、興味を持っていましたが、それは俳句の文芸性ではなく俳句の中に無尽蔵ふくまれている人々の暮らしでした。「木綿以前の事」(昭和14年)の中で俳句から気付いたことは二つや三つではないとして麻から木綿への変化、農具の改良、漂泊する宗教者のことが明らかになったといいます。本ゼミでは『おくのほそ道』をテキストに俳句をとりあげ、その背景にある東北地方の民俗文化を明らかにします。

テキスト

『おくのほそ道—現代語訳・曾良随行日記付き』

角川ソフィア文庫 821円(書店等で各自購入して下さい)

- 1 4月10日(日) 「風流のはじめや奥の田植え歌」から
13:00~14:30 田植えの民俗を考えます。
- 2 4月16日(土) 「笠島はいづこ五月のぬかり道」から
13:00~14:30 道祖神の信仰を考えます。
- 3 5月14日(土) 「夏草や兵どもが夢の跡」から長寿者
13:00~14:30 の伝承を考えます。
- 4 5月21日(土) 「のみしらみ馬の尿する枕もと」から
13:00~14:30 馬の民俗を考えます。
- 5 6月11日(土) 「閑かさや岩にしみ入る蟬の声」から
13:00~14:30 山の他界を考えます。
- 6 6月25日(土) 「五月雨をあつめて早し最上川」から
13:00~14:30 川の民俗を考えます。
- 7 7月9日(土) 「荒海や佐渡に横たふ天の河」から
13:00~14:30 星の民俗を考えます。



テーマ CNN Student Newsで
学ぶメディアの英語 I

会場

福島学習センター

松浦 浩子 先生

講義概要

本ゼミでは、アメリカの学生向けニュース番組CNN Student Newsを視聴しながら、米国内外のできごとが英語でどのように発信されているのかを学びます。授業では、受講生のみなさんが学習しやすいように、親しみやすい内容を集めた市販教科書『CNN Student News, vol. 4』を利用して、語彙を確認したり、スクリプトを完成させたりします。受講生はご自身で教科書を入手ください(朝日出版社、電話:03-3239-0271)。

- 1 4月9日(土) Half-Empty or Half-Full
13:00~14:30 水は半分もある? 半分しかない?
- 2 4月24日(日) Teaching Warriors not to Hunt Lions
15:00~16:30 ライオンを撃たないで
- 3 5月8日(日) Staying Safe Online
15:00~16:30 オンラインの安全な利用法
- 4 5月22日(日) How to Prevent the Flu
15:00~16:30 インフルエンザにならないために
- 5 6月5日(日) Burger King Moves to Canada
15:00~16:30 バーガーキング、カナダに向かう
- 6 6月19日(日) American High Schoolers Study in China
15:00~16:30 中国に留学するアメリカの高校生たち
- 7 7月3日(日) Making New Energy
15:00~16:30 新しいエネルギーをもとめて

学びカフェにどうぞ

店長 所長 森田道雄

「学びカフェ」は、コーヒー、紅茶を片手に気楽に参加できる「学びを学ぶ」ゼミです。前年とほぼ同じで第1学期3回、第2学期3回で進めます。連続して参加していただくと「学びの技法」が系統的に身につけていきますが、自分で必要と思うテーマだけでの参加も可能です。月一回中旬の木曜日、13時30分から15時30分くらいで開店します。ことしは木曜開催です。(予定が変更されることもあります。)

- ① 4月14日(木) 「本の読み方」…読解ノート作成の技法
- ② 5月19日(木) 「文の書き方」…小論文、学習ノート作成の技法
- ③ 6月16日(木) 「卒論への誘い」…学術論文作成の基礎的な技法



第1学期は、学びの技法の基本である①本の読み方、②文の書き方を取りあげ、そのあと、グレードがありますが「卒業研究」に取り組んでほしいという願いをもとに、③卒論の書き方についてとりあげます。基礎的かつ共通の「卒論の書き方」を取りあげます。卒論はまだ遠い先だけど、という方も大歓迎です。

卒論は「何をやりたいか」という問題意識は必須ですがそれだけでは研究テーマ(主題、あるいは研究仮説)になりません。テーマが決まるということは、研究の半分ができたようなものと言われます。また、先行研究を踏まえないと論文は書けません。先人の業績を自分の論文で「引用」する作業は、論文のレベルをおおきく左右する作業です。

「学びの技法」とは、学習の基礎的スキルのことで、従来の学習法の欠落部分ともいえるものです。意識的に、意欲的に学ぶためには、スキル習得が不可欠ということが徐々に理解され始め、いまや企業研修や「活用型学力」として学校教育で重視されています。なお、カフェの他、学習相談は予約制ですが随時受け付けております。

事務室からのお知らせ

重要!

福島学習センターでは、4月1日から開所時間が変更になります。

火曜～日曜 センターの利用時間 9:30～18:00

図書・視聴学習室の利用時間 9:45～18:00

利用の手引でご確認ください。

(いわきサテライトスペースの開所時間の変更はございません)

学生証の発行について

福島学習センターでは4月1日(金)14時以降、いわきサテライトスペースでは4月3日(日)から学生証の発行をいたします。4月に入学(再入学を含む)した学生の方は入学許可証、有効期限切れ(全科履修生:平成28年3月末)の学生証をお持ちの方は古い学生証を持参してください。

郵送による交付を希望する方は①入学許可証又は古い学生証、②身分証明書(顔写真付き)のコピー、③返信用封筒(宛名明記、切手貼付)を同封のうえ、所属学習センターへ送付してください。

通信指導について

通信指導問題は印刷教材と一緒に発送します(一部の科目については別に送付する場合があります)。5月6日まで届かない場合は大学本部(024-276-5111)に連絡してください。

提出期限は郵送の場合5月24日(火)～6月7日(火)本部必着、Web通信指導による提出の場合5月17日(火)10:00～6月7日(火)17:00です。

通信指導問題の答案を期限内に提出し合格すれば、単位認定試験の受験資格が得られます。択一式科目7月8日、記述式科目7月19日までに添削結果が届かない場合は、大学本部に連絡してください。未提出あるいは期限までに到着しなかった場合は、評価対象になりません。

公開講演会が開かれました

どうなるのか日本の財政

放送大学客員教授 清水 修二先生

2月7日、学習センター講義室にて公開講演会が始まって以来の超満員で開催されました。今にも日本が破産するかのような本も出ている中で、危機的な国家財政の指標の紹介のあと、財政の日本的な特徴や日銀の金融政策、なかでも量的緩和や「マイナス金利」などのホットな話題を入れて、国民はどうするべきなのかに至る1時間45分、私たちがこの問題をよく考えるための材料として有益な話でした。質問もたくさん出て、盛況の講演会となりました。



月・惑星への途 ～歌が支える宇宙開発～

放送大学客員教授 浅井 義彦先生

2月6日、いわきのラトプで公開講演会が開催されました。宇宙工学を専門とし軌道計算の仕事で打ち上げ現場を経験のある浅井義彦先生ならではの臨場感あふれるお話しでした。前半は、人工衛星や探査機がなぜ飛ぶのか、どうやって制御するのかの理論的な話で、後半は、はやぶさの初号機にあたる「飛天」での実例が紹介されました。多くの分担作業とそれらを総合する管制現場はとてもスリリング。歌でも口ずさむくらいの開き直った心境で臨んでいます、というのがサブタイトルの一つの種明かしでした。NHKラジオ第二「文化講演会」が収録、放送予定は4月24日21:00～22:00と4月30日6:00～7:00(再放送)。



化学物質の安全、危険どのように考える？

放送大学客員准教授 浅田 隆志先生

2月6日、會津稽古堂多目的ホールにおいて放送大学客員准教授浅田隆志先生による公開講演会が行われました。

「化学物質の安全、危険どのように考える？」との演題で、化学物質のリスク評価が具体的にどのような考え方と方法によってなされているかが説明されました。さらに、水道水のホルムアルデヒドの水質基準や食品添加物として、ホットケーキやパウンドケーキに含まれるアルミニウムのリスク評価について詳しいお話しがあり、どのように私たちが様々なリスク情報に接するべきか、示唆に富むお話しがありました。

また、今回も、会津学知会の皆様には多大なご協力をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。



福島学習センターに所属する学生さんが紹介されました

2016年2月22日発行 「文部科学 教育通信」



生涯現役、生涯学習

邊見 妙子(福島学習センター)

私が放送大学に入学してからはや丸六年が経ちました。きっかけは、「大学には科目履修という制度があって、誰でも学べるのよ。今からでも遅くないのに」という尊敬する方の言葉でした。私は、今の保育士の国家資格も四十歳を過ぎてから三年かかって取得した経験があったので、やってみようと思いました。そこで地元大学を調べてみたのですが、さして収入のない私にはちょっと費用の負担が大きくて躊躇してしまいました。放送大学ということもその方がおっしゃっていたので調べてみると、仕事をしながらでも在宅学ぶことができ、しかも、がんばれば大卒資格も取得でき、費用も無理のない程度でした。できれば五年で卒業したいと目標を立て、「心理と教育」コースで学び始めました。

放送大学に入って、初めて学ぶということが本当に楽しいことなのだとなりました。若いころは、テストのために学んでいたような気がします。それが今は、生活に直結してい



て、仕事にしている保育現場で役に立つことばかりで、学んで本当に良かったです。このたび、卒業研究にも挑戦し、無事、論文を書き終えることができました。テーマは「自然との共感他者との共感を育むのか」

書いてみたいと思っています。

私は認定心理士の資格も取れるように授業を組んでいたのも、卒業と同時に取得できる予定で、それも仕事に活かします。

今後は幼稚園教諭の資格を取得しようと計画しています。そして、その次は、大学院で学ぼうとも思っています。自然のことももっと学びたいし、芸術のことも知りたいです。生涯現役、生涯学習が私の目標です。

(へんみ たえこ)
一九六〇年 福島県生まれ
二〇〇九年後期 放送大学入学
子ども好きが高じ自然の中で遊び育む保育がしたくて、二〇〇九年青空保育たけの子を創立、現在同NPO法人代表理事。毎日、活動場所の米沢市へ福島市から一時間半かけて通う。趣味は合唱。放送大学全科履修生。専攻は心理と教育。

学生サークル紹介

登山サークル



会費 年1,000円
活動費 実費

登山を通じ、体力、気力を養うとともに仲間意識の高揚と親睦を図ります。また、気候や環境を肌に触れ、動植物の観察などを通じ自然の理解を深めます。

山行は、県内各地の山を中心に、1～2回は宿泊し百名山にも登ります。昨年は、4月半田山・5月赤面山・6月安達太良山・7月磐梯山・8月穂高岳・9月谷川岳・10月川桁山・11月霊山・12月二ツ石山などに登りました。名湯を探し入浴するのも楽しみの一つです。

個々人の希望と体力にあった登山を楽しめればと思っています。



問い合わせ先(幹事) 斎藤 芳久 024-546-8676 080-1809-0046 e-mail:saito-y@chive.ocn.ne.jp

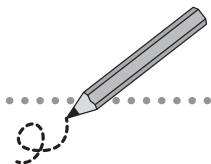
会津学知会



学知会は学びを尊ぶ会津地域の会員で構成し18年5月に発足した。特徴は一人で学ぶことの多い放送大学にあって「会津地域の学生と卒業生同志の交流と情報交換」をしながら、より充実した生涯学習活動の実践を目指している。月1回の定例会(会員が先生となり興味関心を持ったことを発表)や自主講演会(学識者講師の公開講座)等を学びの場として活用している。また野外活動として、歴史散策(1回/年)や震災後の双葉・いわき地区への視察研修(3回)等を実施してきている。

会では、趣旨に賛同し、一緒に考え行動するメンバーを随時募集しています。

問い合わせ先(代表) 佐藤 利一 0242-22-4556



BOOK CLUB



英語の原書を読む「BOOK CLUB」は、各学期に7回程度土曜日から日曜日に学習センター講義室等で行っているサークルで、毎回7～8名ほどの参加者があります。今までに使用したテキストは、結成会員のベースとなっている元客員教員真船均先生の「英語ゼミ」で使用したものを含め10タイトルですが、その内の9タイトルは写真の通りで、現在使用しているテキストはCharlotte Bronte著「Jane Eyre」です。

問い合わせ先(事務局) 根本 芳則 080-1835-3863

